令和６年１月１日に思う

年頭にあたり村民皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

未来への約束であります「川上宣言」の具現化を一層進め、飛躍の年にしたいと思います。そのためにも、村立かわかみ源流学園を今春無事に完成させ、万全を期して子どもたちを育む決意であります。

今年は、水源地の村づくり「都市にはない豊かな暮らしを築く」とした覚悟から30 年の節目にあります。本事業は着実に進化をとげており、ますます社会より高い評価をいただいています。

昨今の気候変動による自然災害の激甚化・頻発化、世界的な大雨や干ばつ、熱波、大規模森林火災や地球温暖化現象は、私たちの目にも明らかであります。わが村が、20 世紀より展開する源流保全や水資源保護の取り組みは確かで、さらにさらに期待が高まるものと思われます。

一方、わが村がいち早く“寄り添う行政、出向く行政”とした村民の居ごこちを整える事業やおてったいさん制度、重層的支援体制の構築は、社会に先駆けた取り組みと自負しています。いわゆる well-being※の流れに沿うものであります。

さらには、前述のとおり今春開校をめざす義務教育学校の村立かわかみ源流学園には、保育園の併設とともに子育て支援拠点とする「こどもセンターあま☆ごん」を設置します。このことは、国がめざす「こどもど真ん中政策」を先取りするものであり、この節目に『教育村』を名乗るわが村が教育の再編をめざし、“節目を要しても垣根はいらない保育・教育”は「こどもファースト」と言える意義あるものと確信しています。

大きな経済や人の数にとらわれず、子どもたちはもちろん大人にも笑顔があふれ、人と人が支え合い力を合わせること、そこにパワーとスキルを持った若者の新鮮な力を融合させるそんな村であり続けたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いします。

※well-being…心身ともに満たされた状態